

権 学 俊

韓国の大学を卒業してから日本に留学し戦後日本社会研究に取り組みました。専門は現代日本社会論、スポーツ政策論。現在は、近現代日本におけるスポーツ・ナショナリズムの研究、日本のスポーツとマイノリティ研究に取り組んでいます。学部在学中には学生会（自治会）活動、大学院在学中には在日外国人 인권 団体での活動を通して多くのことを学びました。趣味は旅行と料理。いろいろな韓国料理が作れます。好きな食べ物はキムチと納豆です。

1. 専門演習の目標

本演習の目標は、日本社会におけるスポーツイベントの歴史的な性格を踏まえながら、社会的・政治的・経済的機能と構造を分析することです。スポーツイベントに関する資料を分析する力、論理的に思考し、レポート作成やプレゼンテーションなどでの討論を重ね、広い視野と自分の意見を伝える能力を磨きます。専門知識を増やすだけでなく、共同研究を通じた仲間づくり、様々なイベントを通じた国内外のネットワーク作りも目標としています。

2. 専門演習で扱う課題と内容

スポーツイベントは、日本社会にいったい何をもたらしたのかを検証することが本ゼミの課題です。これまでスポーツイベントの多くは、公共投資も含めて経済効果の面から語られてきましたが、国家や地域にとって地域の連帯感、新たな地域コミュニティ、ボランティア組織なども与えてくれます。しかしスポーツイベントは、環境問題、治安問題、貧困問題、ゴミ問題などさまざまな問題を抱えているだけでなく、いろいろな形で支配階級によって「政治」に利用されてきました。

本演習では、近現代日本における各スポーツイベントのスポーツ史上の位置、国民統合・地域統合に適した象徴儀礼、大衆動員のメカニズムなどを含めた政治的意味や社会的機能、経済波及効果、問題点などを包括的に検討して近現代日本の社会的特質を浮き彫りにしたいと思います。社会生活内で日常化されてきたスポーツイベント以外の種々のイベントが持つ社会機能についても検討します。

3. 授業の進め方・内容

- 3 回生前期：いくつかのグループを編成し研究テーマを設定してから関連する文献・論文の収集とリスト化を行います。その後、グループごとに研究を行い、発表や討論をやり、論文の書き方を学びます。
- 3 回生後期：各自の研究テーマを決めてもらい、文献報告や研究報告を行います。
- 4 回生前期：3 回生後期の個人研究テーマをさらに発展

させ、個人研究に基づいた研究発表を中心として行います。卒研に関連した文献、卒研構想発表、卒研中間報告などを行います。

- 4 回生後期：各自の卒研について順次報告と卒研結果報告してもらいます。卒業研究論文の形でまとめます。就職あるいは大学院進学などについては個別に相談に応じます。韓国スタディツアーおよび韓国大学生との交流セミナー、ホームステイなどのイベント、スポーツイベント見学、他ゼミ・他大学のゼミとの合同セミナーなどの企画も大切にします。やりがいのあるゼミにしたいと思います。

4. 必要とする知識

特にありません。

5. 関連する分野・科目・知識

スポーツと現代社会、スポーツ政策論など。

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

特定のテキストはありませんが、参考文献は適宜紹介します。さしあたり参考文献として以下のものをあげておきます。

松村和則編『メガ・スポーツイベントの社会学』南窓社、2006 年

原田宗彦『スポーツイベントの経済学』平凡社、2002 年

津金澤聰廣編『戦後日本のメディア・イベント』世界思想社、2002 年

7. 独自に付加する選考方法

必要に応じて面接

8. 受講生に望むこと

ゼミでの活発な議論、ゼミ運営への積極的な参加を願っています。将来の目標をしっかりと持ち、前向きに頑張ってください。